

～地域包括医療病棟への転換のお知らせ～

当院は、令和7年10月よりC館 6 階一般病棟を、DPC対象病棟から『地域包括医療病棟』として、運用開始としました。

地域包括医療病棟：C館6階（52床）

〈地域包括医療病棟とは〉

地域包括医療病棟とは、ご高齢の救急患者さんを受け入れる体制を整えており、リハビリテーション・栄養管理・退院支援等の機能を包括的に行う病棟です。

日常生活動作の維持や向上、及び早期の在宅復帰を目指した医療を提供いたします。

地域包括医療病棟における医療サービスのイメージ



救急患者を受け入れる体制を整備



一定の医療資源を投入し、急性期を速やかに離脱



早期の退院に向け、リハビリ、栄養管理等を提供



退院に向けた支援
適切な意思決定支援



早期の在宅復帰
在宅医療、介護との連携



10対1の看護配置に加えて、療法士、管理栄養士、看護補助者（介護福祉士含む）による高齢者医療に必要な多職種配置

包括的に提供

～厚生労働省保険局医療課資料より～

医療法人輝山会 輝山会記念病院
院長 露久保 辰夫